



# 自動火災報知設備のIoT論文で「日本一」!



当消防本部 初  
最優秀賞 & 秀賞 W受賞!

一般財団法人全国消防協会が主催する「平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」において、全国の消防職員から応募された123作品のうち、久留米広域消防本部より、最優秀賞(論文の部)及び秀賞(機器の部)を受賞しました。

令和元年5月29日(水)に開催された全国消防長会総会の会場にて表彰式が執り行われました。



前列左から7番目：古賀 友章 (論文の部：最優秀賞)  
前列右から2番目：高山 由展 (機器の部：秀賞)

## 【 受賞者及び受賞作品 】

< 論文の部 > : **最優秀賞** 消防士 古賀 友章 (下記写真: 右)  
『自動火災報知設備のIoT導入について』

< 機器の部 > : **秀賞** 消防士長 高山 由展 (下記写真: 左)  
『輸液ボトル用ホルダーの開発について』



今後とも、消防の発展と消防職員の資質の向上に尽力して参ります。

(表彰式当日の様子)



受賞作品の紹介を受ける高山



最優秀賞作品の発表を行う古賀

【参考】

◇「消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」についての詳細はこちら→

[全国消防協会HP](#)